



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月8日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)栗原 斉 (TEL)03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 2019年5月8日 配当支払開始予定日 —
 半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第1四半期	10,647	3.7	1,344	4.6	1,366	6.1	879	7.4
18年12月期第1四半期	10,265	△0.1	1,284	2.5	1,288	3.1	818	2.6

(注) 包括利益 19年12月期第1四半期 1,029百万円(47.1%) 18年12月期第1四半期 699百万円(△13.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
19年12月期第1四半期	45.18	—
18年12月期第1四半期	42.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
19年12月期第1四半期	54,288	40,235	66.2
18年12月期	53,046	39,578	66.5

(参考) 自己資本 19年12月期第1四半期 35,931百万円 18年12月期 35,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
18年12月期	—	5.00	—	18.00	23.00
19年12月期	—	—	—	—	—
19年12月期(予想)	—	10.00	—	16.00	26.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000	7.5	2,000	12.7	2,000	10.9	1,200	7.0	61.67
通期	42,200	8.0	4,100	11.5	4,150	10.8	2,550	9.9	131.05

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

19年12月期 1 Q	20,763,600株	18年12月期	20,763,600株
19年12月期 1 Q	1,305,402株	18年12月期	1,305,282株
19年12月期 1 Q	19,458,251株	18年12月期 1 Q	19,458,843株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦激化による世界経済の悪化など先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、各種政策効果による下支えが続いたことで、新設住宅着工戸数は前年と比べ増加しているものの、原材料価格の値上がりや物流コストの上昇などの要因もあり厳しい環境が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,647百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は1,344百万円（前年同期比4.6%増）、経常利益は1,366百万円（前年同期比6.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は879百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

主力製品であるヨコ型ブラインドにおいて、空調や外からの風による製品の揺れを軽減する『振れ止めコード』をオプションとして追加するなど、付加価値と機能性を追求した製品の開発、販売に取り組んでまいりました。

また、市場の差別化を図るべく、高い遮蔽性を持ち、ワンタッチ操作でブラインドがゆっくりと下降する機能を搭載したヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』や、光漏れと直射光の侵入を低減したヨコ型ブラインド『シルキーシェイディ』、生地巻き取り部などを隠して直射光を遮る「シールド」を装備したロールスクリーン『ラルクシールド』など、近年発売した付加価値の高い製品を販売の軸とし、市場の拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、住宅売上は堅調に推移したものの、非住宅売上上の物件完工時期のずれ等により、売上高は8,743百万円（前年同期比0.3%減）となり、営業利益につきましては、原材料価格の高騰や、物流コストの上昇があったものの、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、1,229百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

独自の付加価値提案を積極的に展開し、受注獲得に努めた結果、『スーパーパズル』（大規模地下駐車場）の大型物件を計上したことで、売上高は1,014百万円（前年同期比55.0%増）となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、選別受注と原価低減活動に取り組んだものの、32百万円（前年同期比31.4%減）となりました。

[減速機関連事業]

国内外の設備投資動向が堅調に推移するなか、企業の人手不足を背景に、物流・工場自動化等のニーズが広がり、無人搬送台車駆動用特殊減速機をはじめ、産業用減速機の受注が好調に推移したことにより、売上高は890百万円（前年同期比6.2%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に努めたことで、83百万円（前年同期比110.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は54,288百万円で、前連結会計年度末と比較し1,242百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は36,023百万円で、前連結会計年度末と比較し462百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は18,265百万円で、前連結会計年度末と比較し779百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による増加や、投資有価証券の取得による増加によるものであります。

(負債)

負債は14,053百万円で、前連結会計年度末と比較し585百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が減少した一方で、支払手形及び買掛金や賞与引当金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は40,235百万円で、前連結会計年度末と比較し656百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は66.2%と、前連結会計年度末と比較し、0.3ポイントの減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等を背景に、緩やかな回復が続くことが期待されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましては、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取り組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、ホテル需要や海外市場等、成長分野への取組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品「パズルタワー」の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、2019年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において2019年2月7日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,186,657	13,185,589
受取手形及び売掛金	14,317,016	15,654,903
商品及び製品	644,696	757,461
仕掛品	1,411,843	1,524,199
未成工事支出金	388,060	130,660
原材料及び貯蔵品	3,630,772	3,890,185
その他	993,791	893,760
貸倒引当金	△11,815	△13,091
流動資産合計	35,561,024	36,023,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,292,846	13,322,128
減価償却累計額	△9,224,329	△9,290,101
建物及び構築物(純額)	4,068,517	4,032,026
土地	7,444,602	7,444,602
その他	14,976,659	15,135,758
減価償却累計額	△13,620,203	△13,701,288
その他(純額)	1,356,456	1,434,470
有形固定資産合計	12,869,576	12,911,099
無形固定資産	394,152	500,166
投資その他の資産		
投資有価証券	1,645,707	2,284,508
退職給付に係る資産	345,272	344,404
その他	2,425,727	2,345,435
貸倒引当金	△194,822	△120,454
投資その他の資産合計	4,221,884	4,853,894
固定資産合計	17,485,613	18,265,160
資産合計	53,046,638	54,288,829

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,737,524	7,098,134
未払法人税等	859,936	516,266
賞与引当金	222,044	639,572
役員賞与引当金	69,080	17,900
製品保証引当金	12,490	15,297
工事損失引当金	2,866	-
その他	1,864,106	2,106,218
流動負債合計	9,768,049	10,393,389
固定負債		
役員退職慰労引当金	374,500	364,865
退職給付に係る負債	3,126,386	3,099,827
その他	198,808	195,152
固定負債合計	3,699,695	3,659,845
負債合計	13,467,744	14,053,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,016	4,395,016
利益剰余金	27,128,462	27,657,323
自己株式	△670,376	△670,510
株主資本合計	35,328,102	35,856,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,022	338,924
繰延ヘッジ損益	△776	348
為替換算調整勘定	33,630	37,891
退職給付に係る調整累計額	△317,598	△302,933
その他の包括利益累計額合計	△44,722	74,231
非支配株主持分	4,295,514	4,304,533
純資産合計	39,578,894	40,235,594
負債純資産合計	53,046,638	54,288,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	10,265,489	10,647,774
売上原価	5,717,232	6,000,948
売上総利益	4,548,256	4,646,826
販売費及び一般管理費	3,263,351	3,302,210
営業利益	1,284,905	1,344,615
営業外収益		
受取利息	278	327
受取配当金	1,660	1,647
不動産賃貸料	8,946	8,902
保険配当金	6,749	9,407
その他	17,756	24,734
営業外収益合計	35,390	45,019
営業外費用		
支払利息	4	5
売上割引	18,321	19,385
為替差損	8,628	-
その他	5,305	3,380
営業外費用合計	32,260	22,770
経常利益	1,288,035	1,366,864
特別損失		
固定資産除却損	462	60
特別損失合計	462	60
税金等調整前四半期純利益	1,287,573	1,366,803
法人税、住民税及び事業税	465,278	503,990
法人税等調整額	△28,835	△50,353
法人税等合計	436,442	453,637
四半期純利益	851,131	913,166
非支配株主に帰属する四半期純利益	32,432	34,056
親会社株主に帰属する四半期純利益	818,698	879,110

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	851,131	913,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△163,535	95,860
繰延ヘッジ損益	△6,253	1,125
為替換算調整勘定	△4,534	4,261
退職給付に係る調整額	23,070	15,246
その他の包括利益合計	△151,253	116,494
四半期包括利益	699,877	1,029,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	678,496	998,064
非支配株主に係る四半期包括利益	21,381	31,596

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,772,522	654,508	838,457	10,265,489	—	10,265,489
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	15,101	15,101	△15,101	—
計	8,772,522	654,508	853,559	10,280,590	△15,101	10,265,489
セグメント利益	1,198,262	47,110	39,533	1,284,905	—	1,284,905

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,743,072	1,014,416	890,284	10,647,774	—	10,647,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	36,068	36,068	△36,068	—
計	8,743,072	1,014,416	926,353	10,683,843	△36,068	10,647,774
セグメント利益	1,229,096	32,308	83,210	1,344,615	—	1,344,615

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。